

本当に地球温暖化は進んでいるのか

～山梨でブドウやモモが
作れなくなる!?～



動機

よくニュースで「年々暑くなっている」と言うが、果たして本当に暑くなっているのか？また、祖父母も、昔より暑くなっているのか？と疑問に感じた。そしてもし本当に「昔とは暑さがちがう」と言っていたので、気になっただけでなく、昔より暑くなっているのであれば、私たちの生活にどのような影響をもたらしているのか知りたいと思った。

「で、過去の暑さが当然で、今はクーラーで夜も涼しく眠れるの？」

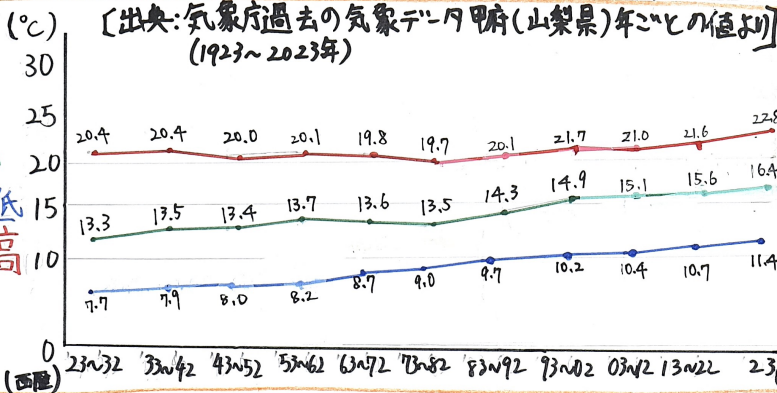
「除計にクーラーのない場所を暑いと感じるだけで、はたして本当に暑くなっているのか？と疑問に感じた。そしてもし本当に「昔とは暑さがちがう」と言っていたので、気になっただけでなく、昔より暑くなっているのであれば、私たちの生活にどのような影響をもたらしているのか知りたいと思った。」

1

【出典：気象庁過去の気象データ（山梨県）年ごとの値】
(1923～2023年)

山梨の年間平均気温の推移

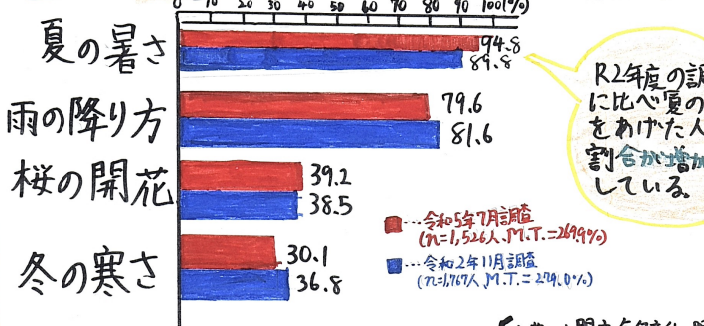
気象庁の観測データから過去100年(1923～2023年)の山梨県の平均気温を10年毎に算出した。次に折れ線グラフに表し推移を100年前に比べ、1日の平均気温、最高気温、最低気温全てが年々上昇していることが分かる。



2

日常生活で感じる気候変動の影響

人々は、どのような場面で温暖化による影響を感じているのだろうか。

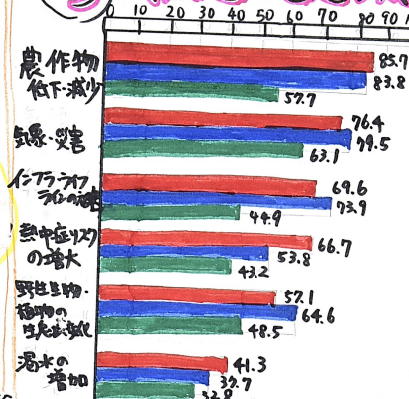


R2年度の調査に比べ夏の暑さをあげた人の割合が増加している。

3

問題だと思える気候変動の影響

地球温暖化などの気候変動は、将来にわたって自然や人間の生活にどのような影響を与えることが予測されているのか。一番問題だと思っているのは、農作物の品質や収穫量低下、漁獲量が減少することである。2016年の調査では63.1%で第2位だったが、2022年の調査では80%をこえ1位となっている点も気になる。



4

山梨の特産品ブドウやモモへの影響は？



最近品種改良や被害の対策が進んでいるため、被害は少なくなっている。その前は連続で着色・肥大不良や生理落果などの被害が続いていた。モモよりブドウの被害が多い。

5

栽培環境に適した？

モモ	ブドウ
気候	気候
平均気温が20～25℃	平均気温が10～20℃
旧の気温の寒暖差が大きい	旧の気温の寒暖差が大きい
小雨	小雨
日照	日照
地形	地形
扇状地は石ころが多く、土が硬い	緩やかな傾斜地
土壌	土壌
地域	地域
東北地方南部以南	甲府盆地を中心とした水はけのよい地域

まとめ

気象庁の過去100年間の観測データを折れ線グラフに表したところ、人々が体感している通り年々気温が上昇し暑くなっていることが分かった。
・内閣府が行った気候変動に関する世論調査から、人々は農作物の品質や収穫量低下を一番問題に感じているということが分かったが、実際、山梨の特産品であるブドウやモモが気候による被害を受けている。
・このまま気温上昇が進行すると、山梨県がブドウやモモの栽培に適した環境でなくなり、特産品ではなくなってしまう日が来るかも知れない。
・そうすると、ブドウや桃や梨といった山梨が誇る美しい景色が失われてしまう。今回統計グラフにまとめてみて、気候変動は身近な問題であると感じることができた。